

# のびのび



令和4年度校長室だより 11月1日号

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ～学び合い～

チャレンジ目標：湯田小ABC

## 音楽会で育てたい3つの力

校長 藤井 智寛

先週の校内音楽会には、多数ご来校いただき有り難うございました。今年は、全学年が体育館で発表しましたが、お子様の学年だけの鑑賞に限定したため、合唱や合奏をあわせてもわずか10分程度と少し物足りなさを感じられたかもしれません。私は1年生から6年生まで発表を聞かせてもらいましたが、低学年には可愛らしさ、中学年には力強さが、そして高学年では優しさや温かみを感じる演奏やその歌声に聞き入り、心が豊かになる半日を過ごすことができました。特に、4年生・5年生・6年生の合唱には、歳のせいかわず目頭が熱くなるほど心を揺さぶられました。

ただ、音楽会当日を迎えるまでには各学年それぞれに苦労がありました。1年生はもちろんですが2・3年生にとっても、新型コロナのため学年全体で音楽を発表することは今年が初めての経験です。また、どの学年も感染対策を講じつつの練習なので、様々な制限がありました。そうした中、体育館での全体指導や個別での鍵盤ハーモニカやリコーダー



1年生 鍵盤ハーモニカの演奏

などの練習、さらには練習した自分の音を周りの音と合わせ、その上で聞き手を意識した演奏にまで高めることは上級生にとってもなかなか大変なことです。

そこまでして音楽会を行うのは、お家の方に学習の成果を発表するという意味合いもありますが、音楽会やそこに至るまでの過程で、通常の学習では育て難いものを学ばせる貴重な学習の場でもあるからです。私自身は、音楽会で育てたいのは3つの『合わせる』力だと考えています。

- 1 指示を聞き、全体で動きや行動を合わせる
- 2 音を聴いて、曲に合わせる
- 3 心を合わせて、聞き手を意識した表現をする

この3つの力を育てるには、大勢の前で発表する経験が欠かせません。その経験を毎年積み上げていくことで、練習の時から当日のことをイメージしながら頑張れるのだと思います。

今年は、保護者の方にとって10分程度の鑑賞でしたが、来年はより多くの時間鑑賞していただけるようにと願っています。また、子どもたちのも他の学年の演奏を聞き、音楽のすばらしさに浸ってほしいと思います。

## 学校の様子（10月）



### 10月7日 選書会

体育館に実際に本を並べ、子どもたちが読みたい本を自分たちで選びました。（選んだ本はすでに何冊か図書室で借りることができます。）



### 10月13・14日 自然教室（5年生）

3年ぶりに、1泊2日で自然教室を行いました。天候にも恵まれ、自然の中で貴重な経験を積むことができました。



### 10月20日 小中合同VS活動

毎年恒例となっている湯田中学校と6年生との合同VS（ボランティア・サービス）が行われ、6年生は中学生のリーダーシップに感心していました。



### 10月25日 共済苑との交流

学校前の老人ホーム「共済苑」とJRC委員会が交流しました。まだ訪問はできないので、絵手紙を渡し、道を挟んで互いに手を振り合って交流しました。



### 10月19・26日 CBT（5・6年）

CBT（コンピュータ・ベースド・テストティング）と呼ばれる端末を使用してのテストが県内5・6年生を対象に行われました。



### 10月27日 幼稚園・保育園との交流

音楽会前日に、湯田幼稚園・はあと保育園中央の園児が1年生の音楽会前日練習を見学に来ました。楠木保育園も別日に見学に来られました。

## 芸術の秋 ～海外の大作を展示しています～

現在、5・6年生昇降口の壁面に、縦130cm横154cmの絵画を展示しています。この作者はMike Pretty（マイク・ペリー）さんというアメリカの芸術家です。湯田小出身の方が、マイクさんの日本での個展のお世話をされ、山口を訪れた際に感謝のしるしとして譲り受けた物だそうです。子どもたちにもぜひ鑑賞してほしいというお話をいただき、しばらくお借りしています。ご来校の際には、ぜひじっくり眺めてみてください。



題 The Big Journey